

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

令和4年の労働争議の状況を見ると、「総争議」の件数は270件、総参加人員は53,519人となっており、前年に比べ、件数は27件（9.1%）減、総参加人員は6,870人（11.4%）減となった。「総争議」の件数は、過去2番目に低く、減少傾向にある。

このうち、「争議行為を伴う争議」の件数は65件、行為参加人員は6,447人となっており、前年に比べ、件数は10件（18.2%）増、行為参加人員は1,411人（18.0%）減となった。（第1表、第1図、10頁附表）

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
平成30年	320	103,342	58	51,038	10,059	262	52,304
令和元年	268	105,340	49	57,345	17,763	219	47,995
2	303	57,426	57	32,436	6,013	246	24,990
3	297	60,389	55	38,540	7,858	242	21,849
4	270	53,519	65	37,881	6,447	205	15,638
令和4年の 対前年増減数 (件・人)	△27	△6,870	10	△659	△1,411	△37	△6,211
令和4年の 対前年増減率 (%)	△9.1	△11.4	18.2	△1.7	△18.0	△15.3	△28.4

第1図 労働争議の種類別件数の推移

